

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		釜石市すくすく親子教室				
		公表日 令和7年3月19日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5			
	2	職員の配置数は適切であるか	5			
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	5			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	5			
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか	5		活動場所がパターン化しないよう、場所を変えるなど工夫した。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	5			
	7	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4	未回答1		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか	4	1		職員全体で意見を把握する機会を設けるのは難しかった。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	2 未回答1	運営委員会で事業内容の説明や報告を行い、意見をいただいている。また、実習生の受け入れや関係機関等の見学を実施することで、外部の視点や意見を聞く機会としている。	
	10	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4	1	ZOOM研修の機会を提案している。	療育時間と重なりタイミングが合わず受講が難しい状況。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか	4	1		
	12	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	5			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で子どもの最善に利益を考慮した検討が行われているか	5			
	14	児童発達支援計画が職員に共有され、計画に沿った支援が行われているか	5			
	15	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	1 未回答1	こども家庭センターの心理師による田中ビネー知能検査と新版K発達検査の結果で発達状況を把握し、個別支援計画の作成に活かしている。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	5			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5			

	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	5			
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5			
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5			
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5			
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	5			
関係機関や保護者との連携	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5			
	25 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	5			
	26 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	4	未回答1		
	27 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	3	2		
	28 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	4	未回答1	保護者や相談支援事業所、保育所等訪問支援で訪問している園と情報共有が出来ている。	
	29 移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	2	2 未回答1		
	30 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言を受ける機会を設けているか	2	2 未回答1		
	31 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2	2 未回答1		療育時間が限られているため、交流機会は設けていないが、ほとんどの利用児が就園しているため、園生活の中で地域の子ども達と交流している。
	32 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5		現在、保護者向けのプログラムは実施していないが、保護者から相談があった場合には、対応方法を話し合う機会を設けるとともに、こども家庭センターで開催するペアレント・トレーニングを紹介している。	
	33 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか、また情報提供を行っているか	4	未回答1		
	34 児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか	5			
	35 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	5			
	36 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4	1	モニタリングのほか随時対応しており、必要に応じて関係機関を紹介し繋げている。 ・夏祭り等の行事で保護者同士やきょうだいが交流できる場を設定している。 ・療育時間内に子どもと分離する時間を設け、児発管や職員、保護者で話をする機会を設定した。	保護者の実態として、保護者会の開催は難しいため、療育中に取り組める内容を実施したが、まだ定着していない状況。
	37 父母の会の活動を支援したり保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか	5			

保護者への説明等	38 定期的に通信等を発行し、HPなどで活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5		R6.10月からメール配信サービスによりお便りをデータ配信している。	
	39 個人情報の取扱いに十分注意しているか	5			
	40 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5		振り返り等で共有し、全体で把握するよう気を付けた。	
	41 事業所の行事に地域住民を招待する（お声がけをする）等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	2		
	42 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	4	未回答1		
	43 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5			
	44 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	3	1 未回答1	・現在、療育中に服薬する利用児は無し。 ・利用開始の際、保護者に健康状況票を記入していただくほか必要に応じて聞き取りを行っている。	
非常時等の対応	45 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	1	3 未回答1	・食事の提供は無し。 ・行事等で食べる場合には、保護者に声がけし、判断と確認をお願いしている。	食事やおやつ提供の場がない為チェックが難しい。
	46 安全計画を策定し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理がされた中で支援が行われているか	4	1		
	47 子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか	5			
	48 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4	1		
	49 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	3	1 未回答1	毎年2月～3月に研修及び振り返りを実施。	
	50 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	3	1 未回答1		